

## 事業報告書

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1 支援団体名         | 團伊玖磨記念『筑後川』IN 朝倉2008実行委員会   |
| 2 事業名称          | 團伊玖磨記念『筑後川』IN 朝倉2008(1市2町合併3周年記念)   |
| 3 実施日時          | 平成20年9月14日 10月25. 26日   |
| 4 実施場所          | 朝倉市・ピーポート甘木(10月25. 26日) 三連水車の里あさくら(9月14日)   |
| 5 事業目的、内容及びその効果 | <p>(事業実施状況・内容)</p> <p>9月14日(日)13:00~13:30ピーポート甘木大ホール「ダム町のダムの話」講演<br/>400名の聴衆が集い自然環境豊かな中での「ダム」の存在意義についての講演を聞いた。</p> <p>9月14日17:30~18:00 朝倉市三連水車の里あさくら広場での『筑後川』大合唱<br/>300名の合唱団が現田茂夫指揮で筑後川と流域の人々を讃えた『筑後川』を大合唱。<br/>地域住民にとって筑後川がより身近なものとの実感を得た。</p> <p>團伊玖磨記念『筑後川』IN朝倉2008(10月25. 26日 ピーポート甘木大ホール)<br/>13:30 開演の午後の部、16時開演夕方の部と1日2回公演。入場者1800名。<br/>第1部 筑後川に響くわがまちのうた<br/>第2部 團伊玖磨作品を歌う<br/>第3部 『筑後川』大合唱</p> <p>筑後川流域の合唱団700名が舞台に登場した、合唱の祭典。10月25日の「前日コンサート」<br/>朝倉高校音楽部・OB合唱団90名が700名の聴衆を前に『筑後川』の合唱を披露。</p> |
|                 | <p>(事業実施効果)</p> <p>「ダムのまちでのダムの話」講演会には400名が集り、2日間にわたり『筑後川』大合唱が3回<br/>行われ、舞台上で歌った人700名。聴衆は3公演で2500名。河川の持つ生活観、文化性など<br/>多目的な機能を改めて実感するものとなった。筑後川の水を引く朝倉三連水車の里広場<br/>では、水車の水音をバックに300名が大合唱。筑後川中流域の環境や、暮らしと河川のかかわり<br/>を実感した。筑後川流域に暮らす参加者が「川」に対する愛着をさらに深めた。</p>  |
| 6 参加内訳          | 総人数 3800名   |
|                 | (1)主催者参加 700名   |
|                 | (2)日本人参加((1)を除く) 3100名  |
|                 | (3)外国人参加((1)を除く) 0名   |
| 7 今後の方針         | 音楽文化を通してダムの存在、筑後川の美しさを再認識し、豊かな地域環境を維持してゆきたい。今後も更に『筑後川』流域コンサートを続く限り継続してゆきたい。来年は大分県日田市で開催予定です。  |

「ダムのみちでのダムの話」の講演を聴いた  
400名の聴衆は、その場で『筑後川』を合唱した。  
(9月14日ピーポート甘木大ホール)



朝倉市・三連水車の里あさくら広場  
三連水車と歌う『筑後川』  
300名が大合唱した。(9月14日)



10月25,26日のコンサートの予告が  
NHKテレビ朝のニュースで伝えられた。  
(10月25,26日両日6:55など)



團伊玖磨記念『筑後川』IN朝倉2008  
「前日コンサート」  
(10月25日ピーポート甘木大ホール)



團伊玖磨記念『筑後川』IN朝倉2008  
午後の部の舞台には260名が参加  
(10月26日13時30分開演)



夕方の部には270名が参加  
(同・16時開演)

